



シニアが見守る学童保育や日帰り観光サイトなど、
大学生が「地域の担い手不足解消、空き住宅・地域資源活用」をめざして
5つのまちづくり施策を山科区長に提案！

日時：2026年7月28日（火） 13：00 - 14：30

場所：京都橘大学 アカデミックリンクス4階 H401教室

参加学生：経済学部、経営学部、工学部 2回生 5チーム24名

京都橘大学（京都市山科区、学長：岡田知弘）では、7月28日（火）、経済・経営・工学部の2回生24名が、山科区長・山口ひかり氏へ「地域の担い手不足解消、空き住宅・地域資源活用」についての企画提案を行います。今回は、山科区から3つのプロジェクトテーマ（①「地域の担い手不足解消」や「若い世代の地域活動への参加促進」を実現する持続的な地域活動の仕組み作り、②空き住宅等の活用策、③地域資源を活用した観光振興）が示されています。

提案にあたって学生たちは、地域のつながりの強さや安心・安全への取り組み、交通の利便性、歴史・自然等の強みをどのように活かすべきか検討し、山科区が抱えている課題（人口減少や高齢化）の解決につながる施策となるよう、議論を重ねてきました。

この取り組みは経済・経営・工学部の2回生581名が履修する専門科目「プロジェクトマネジメント」の一環で実施しており、山科区におけるまちづくりの課題について、学部横断の学生チームが解決策を提案するもので、今年で5回目となります。本授業では、学生たちが異なる専門分野を持ち寄り、多様な価値観やアイデアを一つの施策としてまとめるため、専門知識だけではなく、リーダーシップやコミュニケーション力、マネジメント力等が鍛えられます。今回は120チームからだされたアイデアの中から、選考を経た5チームが山科区長に直接プレゼンテーションを行います。

空き住宅等の活用をめざす施策では、高齢者が見守り役として参加し、こどもが安心して過ごせる居場所となるよう、学童保育施設に転用する『シニアヒーローズ』として立案。空き住宅を地域の交流拠点として再生する企画としています。また、地域資源を活用した観光振興施策では、山科の観光に特化したツアーサイトの実装をすることで、周遊しやすい観光地としての魅力向上をめざした『このサイトで完結？日帰り山科旅』の提案を準備しています。

山科区は1976年10月に東山区から分区され、2026年で誕生50周年を迎えます。本学は1967年に当時の東山区に開学し、山科区50年の歴史とともに歩みを進めてきました。地域に根ざした大学として、学生が山科と地域に愛着をもってもらい、活気あるまちづくりに参画していきたいと考えています。

【プレゼンテーションの概要】

日時：2026年7月28日（火） 13：00 - 14：30

場所：京都橘大学 アカデミックリンクス4階 H401教室

参加者：山科区長・山口ひかり氏 他

京都橘大学 副学長・河原宣子、経済学部長・吉川英治、経営学部長・平尾毅、
経営学科長・大野宏之、経営学科准教授・多田泰紘 他

参加学生：選考を通過した5チーム（24名）

進行予定 13：00 開会

13：05 「プロジェクトマネジメント」概要紹介

13：10 学生によるプレゼンテーション 5チーム
（発表5分＋質疑応答・講評5分を予定）

14：10 山科区長・山口ひかり氏からの総評

14：30 終了（記念撮影）



【山科区から提示されたテーマ】

- ①「地域の担い手不足解消」や「若い世代の地域活動への参加促進」のために、多様な主体が無理なく関われる持続的な地域活動の仕組みの提案
- ②山科区に魅力的な居場所（空間）を創出するため、空き家・一軒家・マンション・公営の団地など、既に山科にある空き住宅等の活用策の提案
- ③山科区の観光地としての魅力向上のため、地域資源を活用した観光振興の取組の提案

【選出チームの提案内容】

- ①『活動記録×ボランティア参加制度』（テーマ①）
こども食堂ボランティアの活動記録をポイント制度と組み合わせ、若い世代の地域活動参加を促進をする提案。
- ②『シニアヒーローズ』（テーマ②）
空き家を学童保育施設に転用し、高齢者が見守ることでこどもが安心して過ごせる居場所を提供し、地域の交流拠点として再生する提案。
- ③『本と人がつながる家』（テーマ②）
空き家を改装し、本の閲覧・交流スペースとカフェを組み合わせた地域交流拠点を創出することで、家でも学校でもない地域の第三の場所に作り変える提案。
- ④『山科フォトハイク』（テーマ③）
山科の自然を活かしたフォトスポットを整備し、世代を超えた交流の場を創出する提案。
- ⑤『このサイトで完結？日帰り山科旅』（テーマ③）
「周遊しやすい観光地」としての魅力を向上させるため、山科の観光に特化したツアーサイトを実装する提案。

【プロジェクトマネジメントについて】

現実にある社会課題や企業課題等に対し、チームで調査・分析・解決策の立案・提案を行い、その経験から学ぶ実践的な科目です。特に、3学部4学科の学生が混合でチームを構成し、異なる分野の視点から解決策を導きだすことがねらいの一つです。また、授業の進行を学生アシスタントと呼ばれる先輩学生が担っており、この科目では学生同士で学びあう仕組みも大切にしています。

【2025年1月に実施したプレゼンテーションの様子】



学生チームが山科区長へ提案する様子



山科区役所の皆様と参加学生の記念撮影